

(様式1)

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営			
1.理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の理念をつくりあげている。	
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	基本理念を職員事務所に掲示して、毎朝申し送り後に職員間で唱和し確認をしている。また、毎月のケア会議のなかで、常に理念に添ったケアを心掛けているか話し合いをしている。	今後も、理念に添ったケアが実践できているか、スタッフ皆で振り返りの話し合いやケアの確認を継続しケアの質の向上に取り組んでいきたい。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	基本理念は目に留まるようホール内に掲示されている。また、ご家族の面会時に利用者様の状態報告とともに、理念の説明をしている。推進会議のなかでも利用者様のケアプランは理念に添ったものであることの説明をさせていただいている。	
2.地域との支えあい			
4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	「花見」や敬老会などの行事に、今年も体調を考慮したうえで参加できる利用者様と共に参加し、町内の皆様と交流している。クリスマス会に町内の婦人部の人達が箸を作成し利用者様にプレゼントをしていただき、利用者様もよこんでおられた。	現状は、ホーム内での利用者様のケアでいっぱいであるが、今後は地域の高齢者等の暮らし役立つことがないかの話し合いや地域の認知症普及活動に参加するなどの取り組みの検討をしていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>外部評価で要改善と指摘を受けた項目、工夫を重ねたいと考えたことや取組んでいきたいことなどを年度の目標として掲げ、取り組んでいる。</p>	
6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>今年も、8月の夕涼み会や12月のクリスマス会を推進会議の議題に入れて、フルート奏者やハーモニカ奏者の紹介をしていただいた。またクリスマス会でのサンタクロースの役を町内会役員様の持ち回りとすることを決定した。</p>	
7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>グループホーム協議会主催の市を交えての懇談会への出席の予定をしている。</p>	<p>サービスの質の向上を目標に、これからも町内会の役員の人達と一緒に、現場の実情や実態等を積極的に伝えより良いホームづくりのため、市との連携を大切に活用していきたい。</p>
8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>必要な利用者様に活用できるよう支援している。(現在1名権利擁護利用中)</p>	<p>今後も成年後見制度などきちんと説明できるよう内外の研修に参加したり、スタッフ会議でとりあげたりして、熟知していきたい。</p>
9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待関連の新聞記事をその都度コピーし、スタッフ間で熟読をして、虐待を起こさないよう注意をしている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
11	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>		
13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
14	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		
15	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>1ユニットの為、他のユニットへの移動もなく、職員の入れ替わりも少ない為、ほとんど利用者様へのダメージが少ないと考えている。</p>	
5.人材の育成と支援			
17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>勤務経験年数に応じ資格取得ができるよう、院内研修等の参加もしている。</p>	<p>今年度、ケアマネージャー資格を取得したもの、1月に介護福祉の試験を受けるものなど、施設内での育成が図られている。</p>
18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会主催の懇親会へ出席し、他のグループホームの管理者とも相談、情報交換を行い大変助けられている。</p>	
19	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための良好な工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>定期的ではないが、スタッフ間のコミュニケーションを図る為とストレス解消を重ね食事会を開いている。</p>	
20	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>職員それぞれが上の資格を目指しながら日々のケアに努力していることを把握している。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
21	<p>初期に築く本人、家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人、家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>利用前に何度か本人、家族と面会を重ね出来る限り不安のない状態で入居していただけるよう、入居前の信頼関係を大切にお話させていただいている。</p>	
22	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本年度、3名入所様あり。3名とも透析患者様ということもあり、相談を受けた際本人、ご家族の状況及び希望から当ホームが適切であると判断した。</p>	
23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>居室は使いなれた家具や生活用品を設置して安心して過ごせる場所を作っている。また「さびしい」とおっしゃる利用者様には家からぬいぐるみなどを持って来ていただき、ベッドに置いて休まれている。ときどき、帰宅願望を訴える利用者様にはご家族に電話を「かけさせてあげたり、休日の面会をお願いしている。</p>	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>トランプ・かるた・オセロなどのゲームやボール投げなどで一緒に楽しんだりされている。また、食材を切ったり、厨房にスタッフといっしょにおかずを取りにいったり、盛り付けをしたりと食事の準備をスタッフとされ、また洗濯物をたたんだり、カーテンを閉めたりと役割を持って過ごされている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25	<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>		
26	<p>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>		
27	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>		
28	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>		
29	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>理念でもある、ひとり一人の思いや願いが少しでも多く叶うことを目指し、食への希望や生活への意向をプランに上げケアを行っている。食事制限で希望が難しい場合は、医療連携を図り出切る限りのところまで検討し生活していただいている。</p>	
31	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>作成している。</p>	
32	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>毎月のケア会議で確認している。</p>	
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>計画表はご家族に見ていただき、意向を取り入れ了解のサインをいただいている。</p>	
34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>通常3ヶ月に一度のモニタリングをおこない、必要に応じ見直しをしている。3ヶ月以前でも必要時は随時見直しを実施、記録、報告のうえサインをいただいている。</p>	

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
35	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>記録されている。変更や統一が必要なことに関しては、申し送りノートで共有をはかり、ケア会議でも確認をしている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>ホームへのご家族の宿泊、食事の提供をはじめ、医療の確認をとりながらご家族との自由な外出、外泊がおこなわれている。同法人入院中は、廊下を渡りデイサービスのよう日中ホームで過ごすこともある。</p>		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
37	<p>地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>水産高校や八戸大学の学生さんに行事の時などに来ていただき、手伝いや利用者様とコミュニケーションを図っていただいた。今年のクリスマス会では、初めて八戸大学の学生さんが、利用者様、病棟の患者様、ご家族、ご来賓の前で歌とゲームを披露していただいた。</p>		
38	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>入居、退所時には担当ケアマネージャーさんとの情報交換を行っている。</p>		
39	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>現在、生活保護を受けている利用者様で、社会福祉協議会の方にお問い合わせをして支払いなどの金銭管理などをしていただいている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
41	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
42	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
43	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
45	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	上記42に同じ。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
46 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	情報提供書を送付し、話し合いや情報交換をおこなっている。		
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1.その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
47 プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	理念に基づきひとり一人への尊重したケアを大切に する為、言葉づかい、対応への振り返りをおこないながらより良いケアを目指している。		
48 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	希望メニュー・おやつ・洋服の選択等出きる限り自己決定できる場を作り、無理のないようさりげない声掛けや促しをしている。また皮膚科などへの通院の帰り、本人の希望によりお菓子やパン、おかずなどの買い物をしている。		
49 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様の状況に合わせ、出切る限り食事時間や食べる場所を利用者様の希望にあわせている。		
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
50 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	希望に応じて理美容を利用。ほとんどがホームに来てくださる床屋さんを希望し利用されているが、希望により近所の理美容さんへスタッフとでかけ、利用している方もある。服装においては本人に確認し、自己選択への働きかけをおこなっている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
51 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	出きる時は(日曜の昼)好みの献立希望を取り、出きる方は一緒に買い物、食事の準備などを行っている。ただし、利用者様の半数以上が透析療法を受けており食事制限がある為、限られた範囲内で楽しむことができるよう支援している。		
52 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	水分、食品などの制限のある入居者様が多い為、医療関との連携を図りながら、出きる限り本人の意向に添えるよう量、回数で調整支援している。		
53 気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	オープンタイプからリハビリパンツ、リハビリパンツから綿の下着へと改善していけるように、利用者様の状況をみながらスタッフでケアをしている。また、改善されている方もある。		
54 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	透析の方が多いため入浴日、時間はおおむね決められているが希望に合わせて変更されている。また、くつろいだ入浴時間を利用し回想法などを取り入れたりと楽しい入浴タイムを心掛けている。		
55 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	家事の手伝いや歩行、ペダル漕ぎやボール遊びなどの運動で日中の活動量を増やしている。昼夜逆転時は無理をせず夜は付き合い、日中十分な睡眠を取っていただくこともある。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
56 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ひとり一人の役割がほとんど決まっており、積極的に活動されている。(園芸、おかず運び、盛り付け、食材切り、茶碗拭き、洗濯物たたみ、カレンダーめくり、カーテン閉めなど)		


	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>買い物時は自分で支払うことを基本とし、できる方は見守り声掛けで支援している。出掛けられない人や出掛けられない時はスタッフがお金を預かり、希望の物を買ってきている。</p>		
58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>体調を見て、天気の良い日は散歩、買い物に連れ出している。町内行事にも出きる限り参加して頂いている。また、気分転換にと外食の機会も作っている。</p>		
59	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>毎年、「夢を叶えましょう」と題してひとり一人の「願い」を叶えるツアーを企画している。サンデーのペットショップを見たあとヨーカドーで好きなものを食べた方、墓参りなどした方などとても喜ばれている。</p>		
60	<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>電話はいつでも利用できる所に設置されている。また介助により電話なども自由に行われている。</p>		
61	<p>家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	<p>訪問時は気軽にお茶を飲んで過ごして頂き、宿泊も自由にしていただいている。宿泊の時は希望により食事を利用者様と一緒に頂けるように対応している。</p>		
(4)安心と安全を支える支援				
62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束は行わないことで、職員間の認識が統一されている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
63 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は常にオープンとしている。		
64 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に見守りスタッフがあり、離れる時は他のスタッフに必ず声掛けをおこなうこととしている。不穏の方が居る時は傍で見守り、会話をしながら記録等をする。		
65 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	入居者様に危険がないよう管理され、夜間は鍵がかけられる。		
66 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故、ヒヤリハット報告書を提出、ご家族へ提示したうえで保管。また、プチヒヤリハットの報告もあわせて、月に一度のケア会議で話し合いが行われている。		
67 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救急救命法の受講者が1名。緊急マニュアルを作成し応急手当は行っている。また、医療が併設の為、医師、看護師との早急な連携が図られる		
68 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回消防署立会いのもとで、防災訓練を実施している。訓練の報告は、推進会議の議題に入れている。結果、火災を含めた災害時の地域の対応として、町内会長さんの方から、役員の方々連絡網を頂き、その際は「協力したい」とのお言葉をいただいた。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
69 リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	リスクについては事前に説明し了解をいただいた上で、本人らしい生活へのケアに向け話し合いケアの確認をおこなっている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
70 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日の健康チェックをおこない、会話、動作において観察、注意が必要な点は申し送られ、異常と判断した場合は速やかに医療報告、受診がおこなわれる。		
71 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ひとり一人の薬情報が作成され服薬確認がおこなわれている。服用にあたっての症状の変化も記録され、必要時は医師の指示のもと調整がおこなわれている。		
72 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	当ホームは食事・水分制限のある透析療法を受けている方が多く便秘への対応は重要な為、下剤調整、腹部マッサージ等日々の申し送りですっかり確認をおこなっている。		
73 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後、口腔の清潔を日常的に支援している。(歯磨き・入れ歯の手入れ・うがい等の支援・出血や炎症のチェック)		
74 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量、水分摂取量のチェックをおこなっている。そして、状況に応じ、かつ本人の意思を尊重しながら調整をおこなっている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症へのマニュアルが実行されている。		
76 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理に関する物は毎日消毒され、冷蔵庫等も随時おこなっている。消費期限の切れたものは即座に処分をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
77 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	粘土で「いらっしやいプレート」の表札を作成し、ほのぼのとした雰囲気づくりをこころがけている。また、鉢植えを冬場は玄関内に置き、暖かい季節は玄関に出して楽しんでいる。		
78 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	状況に応じてカーテンを引き光の調節をしている。また、テレビやラジカセの音量、スタッフの歩く音などに対しては利用者様が不穏にならないよう注意することなどの話し合いをしている。		
79 共用空間における居場所づくり 共用空間の中には、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	椅子が廊下を含め数箇所に配置され、自由に過ごせるように配置している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
80 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	個々の生活用品が持ち込まれ、その方なりの空間ができています。(たんす・鏡台・扇風機・ラジオ・ラジカセ・椅子等)		
81 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	窓の開閉、換気が適宜されている。また、室温は25前後が保たれている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
82 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下全域に手すりが設置され、洗面所は車椅子対応でありキッチンと食道はカウンターで仕切られ、利用者と共同で活動しやすく造られている。また、風呂場は車椅子の方など援助しやすいよう広く造られている。		
83 わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	居室の壁には本人の選んだカレンダーや思い出の写真、時計等を飾り、安心できるよう配置している。		
84 建物の活用 建物を利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	夏場は中庭でのミニ菜園と鉢植え等を飾り、その中で日向ぼっこや会話を楽しんでいる。また、外周は一部草取りができるよう造られ活動に活かしている。(夕涼み会の行事では、中庭で家族と食事をしたこともあった。)		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
85	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
86	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
87	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
88	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
89	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
90	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
93	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
94	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
95	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
96	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
97	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

当ホームでは透析療法を受けている入居者様がほとんどであり、水分、食事への制限や体調管理の為の排泄管理が重要である。その為、入社研修に関らず医療的知識を高めていくことが要求される。体調不良を訴えることも多く、日々の活動も状態を把握、観察しながら臨機応変な判断が必要とされる。その為、スタッフ間においての声かけは現場の安全に欠かせず、認知症ケアだけではなく細やかなケアがこなわれている。また、体力が無いことから、一日横になって過ごしてしまい楽しみがなくなるよう、体力と体調を見極め行事がおこなわれている。職員においては向上心が強く、要件を満たした順に資格取得に取り組みケアの質向上につなげていると判断している